

今年こそ 計画を実行に



鷺巻小学校六年
吉田 孝子

今年には中学への進学の時。今までは、計画をたてても実行がとまらなかつたことがしばしばありました。今年、第一に残った三か月で小学校生活のまとめをしようと思ひます。

とくに私は、児童会の副委員長長なので、自分のことより全校のことに目をむけてみようと思ひます。

第二は、中学校は小学校のようにはあまえていられないと聞いています。そこで一時間一時間の授業をもっと大切にしたいと思ひます。

第三は、クラブ活動に力を入れ、好きな運動をおおいに楽しむつもりです。

今年こそは、ぜったいにやりとげようと思ひます。

家計の助けに 野菜作り

下木山(主婦)
丸山ノリ



私たちの地区は、月給農家制度。その家計を受け持つ私。近頃物産の値上がりで、あてのはずれることばかり。ときどき家計が赤字でめんくらう。

とら年の今年、一反歩ほどの畑に精魂打ちこみ、野菜を作り、換金して月給に上乗せ、赤字の出ないように、淡い夢を抱願ひます。



加茂農林庄分校三年
齋藤 一陽児

失敗を成功の 踏み台に

今年二輪免許が普通免許に変わる。昨年以上に、もっと仕事に、遊びに、勉強にがんばりたいもの。



二の町(商店主)
阿部 善一

時の流れに 負けないように

市や商工会のご指導もあり、現在の店に、建てかえて三三三が過ぎました。

狭いながらも、季節従業員をふくめて常時三・八人。意欲的に取り組んでいます。

各商店とも、時の流れに負けない機構と内容を揃え、歩道やアーケードを共同改築し、お客吸引態勢を整えるべき最終時期が迫った感じですが、

市の理解を願うとともに、各町内の協調、それにもまして子孫に遺す町づくりのため、一店一戸の結束が必要かと考えます。

初夢「商店街整備」が正夢になりますように。

夢ひとつ抱えて

夢は大きく……それに向って努力するそこに人生のよろこびが湧く。

今年のあなたの夢は——



女らしい 潤いの日々を

白井(主婦)
金川 幸



虎は一日に千里を行き、子も思つて千里の道を帰って来るといふ。私は、心のやさしい、王者の風格を持つ虎が大好きです。

今年「とら年」——物価高石油危機、品不足と不安は続く。今年の虎は、雄姿を誇る虎になれるだろうか。

虎のように 強く願いたい

白根高校三年
湯川 由美子



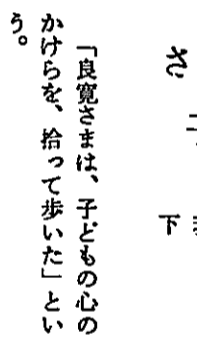
今年とはら年。虎は強くそしてたくましい動物。

今、物不足などといわれ、あちらでは、買ひ物の主婦が……こちらでは、おふる屋さんが燃料不足で、自殺などの悲劇が……私たちが就職試験を受けたのがついこの前、本当にこの前の前。ほんの二・三か月のうちに新聞、テレビにとても信じられないような記事が載っている。生まれてこのかた、そういう記憶もなく、まして経験もない私……

今年から社会人。だれもが持つような一まつ不安と期待。現代っ子のこの気持で、虎のように強くたくましく、ちょっぴり、おしとやかにと希望を新にしています。

ささやかな願い 子らに遊園地を

下茨(理髪業)
上杉 正則



「良寛さまは、子どもの心のかけらを、拾って歩いた」といふ。

テレビのコマーシャルではありませんが、子どもは「腕白でもよい、たくましく……」でありたいと願う親の心は同じです。狭い日本列島、あわたださが吹きあられ、ゆとりのない世相そんな世相の中でも、子どもたちが伸び伸びと、楽しく遊べる広場が、ほしいものです。

子どもたちが遊べる遊園地を各地域に整備してはいかげし

暗やみ農業 乗りこえて

中大郷(農業)
遠藤 徹



石油不足に物不足。物質文明の中にとつりつかつていたわれわれをオロオロさせて、四十八年は終りました。

新しい年が少しも明るい年であるよう折りたいもの、いや、われわれで明るくしていきたいと思います。

しかしこんなふうに、急激に変化する社会が、ある意味では自分を見つめ、仕事を見つめる機会を与えてくれます。

出口の見えないトンネルに入ったような農業。途中で埋まっているのかもしれない、そんなトンネルを抜け出すのが自分の力だけだとしたら——よし、やるさ。

そして今年こそ、健康で明るく……がんばらなくっちゃ。

世界一周で 大きく豊かに

根岸中学校一年
笠原 正弘



ぼくは将来、アメリカをはじめ、世界各国をめぐる歩きたいと思う。

それは世界各国の生活様式や人々の性格など、日本にない長所を見つけて、日本の発展に少しでも役だてたいことと、自身をもっと大きく、豊かに育てたいからだ。

それには、なんといっても英語をマスターしなければならぬ。

ぼくの考えた英語の上達法なるものを、ここに紹介。授業の時、からだは日本にあるが、心は英語の本場アメリカの空、なんて感じはどうだろうか。

今、英語で苦勞している諸君、世界旅行を目的にガンパロウ。

意欲ある 読書と創作

新飯田(主婦)
宮本 美枝



重病にまで陥っていた病気の夫が闘病生活から立ちなおし、平常に近いまでになった喜びと、ありがたさは、この上もありません。

その上、二番目の孫が、四月から保育所行きで、畑仕事や針仕事も存分にできるだろうと、とても楽しみです。

新春早々のうれしいことは、初めて外孫が生まれること。

昨年の私は、チョッピリ怠けてあまり読書をしなかった。今年こそ多読を志し、時、歌、文章をねりにねり、多くの作品を作ることをモットーに、よりよい創作活動に励みたいものです。